

悠 久

～タイトル由来～
「果てしなく長く続いてほしい」という想いから、これまでもこれからも
福祉事業に携わっていくという、強い信念と未来への期待を込めています。

広報紙 悠久

第19号 令和2年8月 発行

新潟県村上市上の山2番17号

TEL 0254(50) 2222

社会福祉法人 村上岩船福祉会

URL: <http://www.murakamiwafune.or.jp/>



※本紙の写真・文章については本人の同意を得ています。

「高齢者グループホームたかつぼ ～誕生したロゴマークとともに～」



社会福祉法人村上岩船福祉会に
ロゴマークができました
理事長 植村 尚志

私達の法人は、昭和五十六年に設立認可を受け、
村上市・岩船郡の障害者並びに高齢者福祉を担う社
会福祉法人として、地域の皆様のご支援を得て、年
々事業を充実させてまいり、現在では四十のサービ
ス事業を運営するに至っております。

今までは、私達の法人を象徴するロゴマークがあ
りませんでした。改元を機に昨年八月以来、法人
の役職員からデザインを募集、数度の選考委員会を
経て、たくさんの方の応募作品の中から自信をもって皆
様にお披露目できるロゴマークを選出することがで
き、今年四月一日から使用することにいたしました。

ロゴマークは、法人の基本理念で「村上岩船福祉会
は、全ての地域の皆様が安心して笑顔で暮らし続け
ることができる地域社会を目指します。」という決意
を表しております。

私達は、ロゴマークが示す精神のもと地域の皆様
のお役に立てるよう一層努力してまいります。

そして、このロゴマークが地域の皆様に親しんで
いただけることを願っております。

新型コロナウイルスにつきまして、私達施設では全
力で感染予防に努めており、ご家族に入園をご遠慮
いただくなど、皆様に大変ご不自由をおかけいたし
ておりますが、どうかご理解いただけますようお願い
いたします。



障害者支援施設
浦田の里
施設長 柳沼俊宏

この度、浦田の里施設長の大役をおおせつかることになりました柳沼俊宏です。

平成8年4月より浦田の里で勤務を始め、利用者様・ご家族様そして先輩職員から声をかけていただきながら自分に与えられた仕事や役割を必死にこなしてきた日々でしたが、これからは浦田の里全体の舵取り役という重責を担うことになり、その覚悟と決意を新たにした所であります。

今、浦田の里そして障害福祉の分野は、これまでの歴史の中でも変化の激しい時代を迎えようとしています。しかし、どれだけ法律や制度、支援技術（スキル）が発展・進化したとしても、その影響を最終的に受けるのは「人」であり、それを提供する我々も「人」であります。「一流の職員は技術より人柄が一流である」という言葉、今こそこの言葉を私たち職員のテーマとし、浦田の里がこの圏域の障害福祉の『根幹』となるように職員一丸となって研鑽を積み勇気をもってチャレンジしていくことが必要と考えます。なにぶん初めてのことばかりですが、力の限りを尽くす決意であります。

今後ともお力添えを宜しくお願い致します。



特別養護老人ホーム
垂水の里
施設長 細野多恵子

令和2年4月より垂水の里施設長を拝命しました細野多恵子と申します。重責に身も心も引き締まる思いでいっぱいですが、誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

垂水の里は、法人職員として初めて勤務した地であり、懐かしい思い出とともに私の福祉観、介護の礎にもなりました。山や川、緑に囲まれた四季折々の豊かな自然と温かみあふれる住民の方々との触れ合い、ともに考え行動する職員など恵まれた環境で培われたものと確信し、再びこの地で働けますことを嬉しく感じています。

今年はコロナ感染の影響により、面会の制限や各種行事は中止を余儀なくされ、いつも通りの生活ができにくい現状です。また、関川村の高齢化率は年々あがり、福祉施設の果たす役割の大きさを痛感しています。そのような状況下でも、安心して暮らせる生活の場、皆さまの拠り所となり愛される施設として、より一層地域との繋がりを深めながら、法人理念の実現に向け職員一同が同じ想いで施設作りに励んでまいりたいと存じます。

今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

フレッシュな新採用職員をご紹介します！



今年度より特別養護老人ホームゆり花園に採用となりました。私がこれから勤務していく上で、法人の基本理念であります「一人ひとりの安心と笑顔のために」という言葉を大切にしていきたいと考えています。そのため、まずは自分自身が笑顔を心がけ、利用者様も笑顔で安心した生活が送って頂けるよう常に大切にしていきたいと思っています。

また、利用者様の様々な思いに寄り添える介護士になりたいと考えています。利用者様一人ひとりの思いに親身になって向き合い、利用者様それぞれのその方らしい生活を送って頂けるよう、楽しみや喜びをより感じてもらえるような支援を行ってきたいです。また、幸せや生きがいを見出せるようなケアを行っていきたくと考えています。例えば、食事を介助させていただく際には、単純に介助するのではなくコミュニケーションをうまくとりながら食事を味わうことの幸福感をより感じて頂けるよう努力していきたいと考えています。

職員としてまだまだ足りない部分が多いですが、何事も冷静に行動し、人生の大先輩である利用者様からも多くの事を学び、楽しい時間を共有しながら今後も日々成長していきたいと思っています。



特別養護老人ホーム
ゆり花園
介護士
中山 昂

職員としての決意

令和2年度の取り組み

施設長 柳沼 俊宏

【4事業所における共通の取り組み】

専門的な知識と技術で支援が行える体制づくりの強化を図り、地域で安心した生活が送れるように福祉サービスの充実を図ります。

障害者支援施設浦田の里

①人材育成とチームケアの充実

②個別支援と栄養ケアの充実

③意思決定支援と権利擁護の推進

④リスクマネジメントの充実

⑤利用者の生活と支援に適合したハード面の検討

⑥家族・ボランティア・地域・関係機関との連携

⑦基本業務、姿勢・意識の再確認

障害福祉サービス事業所浦田の里（通所）

①工賃水準の向上

②重度障がい者が安心して活動できる場の構築

③日中活動による自立支援の確立

共同生活援助あかね寮

①主体性の尊重

②体験利用の推進とニーズ調査の実施

相談支援事業浦田の里

①自立支援協議会との連携

②地域包括ケアシステム・共生型サービスへの対応

③計画相談支援の充実

入所保護者会より



夕食のハンバーグは
村上牛だよ！！



♡いちごの
ケーキ♡



村上市産杉の焚き付け材

まき割り作業（焚きスギ）



大川屋製材所様より
お仕事いただきました！！

通所マスク作成中



通所生活介護花植え



無事に避難できました！



春の総合防災訓練



みどりの家

令和二年度の取り組み

施設長 佐藤 三三

《事業方針》

利用者の意志及び人格を尊重し、その人の立場に立った支援に努めると共に、住み慣れた地域で安心して働ける場所として、継続的な作業の提供と工賃水準の向上に努めます。

また、地域の社会資源として新規の利用者についても、受け入れ体制の整備を進めます。

《重点目標》

- ① 利用者の多様性への対応(主たる事業所)
- ② 働きやすい作業空間の検討(従たる事業所)
- ③ 個別支援の充実
- ④ 作業企画会議の開催
- ⑤ 作業収入の向上
- ⑥ 就労移行支援
- ⑦ 事故防止の強化
- ⑧ 家族・地域・関係機関との連携と地域に根ざした施設作り
- ⑨ 職員の資質向上

新作業紹介

マスク製作

新型コロナウイルス感染症の流行で使い捨てマスクが手に入りにくくなっていた為、みどりの家でも布製のマスク作りを始めました。本場では生地のカットをし、縫い合わせた後、糸切りの仕上げを行い、朝日分場では生地の下洗いと乾燥、仕上げの熱消毒と袋詰めを行っています。作業に参加した利用者からは、「楽しい!!」ととても好評で、人気の作業の一つとなりました。

色とりどりのマスクは評判も良く、すでに1000枚以上お買い上げいただきました。

最初は難しかったけど、慣れてきて毎日楽しい!!

買ってくれる人 pensando 色を考えたりするのが楽しい!!

色んな色や柄があって見ているのが楽しい!!

生地は柄で切り方が変わるので難しい!!



【椎茸を休ませる休養舎】



【発生舎】



【保温の為ハウスを二重にする】



【温度をとる為のストーブ】



【湿度管理の為水を散布する】



【植菌後シートを被せて保温保湿する】

椎茸栽培の視察研修

椎茸のさらなる増産を目指し、2月に山形県にある、先進的な取り組みを行っている椎茸農家2軒に視察研修に行ってきた。研修先では、ホダ木の状態や栽培工程に合わせ、温度や湿度を変えて管理している様子を学習することが出来た。

みどりの家では、研修で学んだ事をもとに植菌後のホダ木の管理、椎茸を発生させる部屋の温度と湿度の管理、収穫後から次に浸水するまでの間、ホダ木への加温に重点を置いて栽培し、増収を目指します。また、今年度は寒さの中でも発生しやすい品種の菌(300本)を新たに試しています。

障害者支援施設

いわくすの里

令和二年度の取り組み

施設長 田巻 清美

《事業方針》

利用者一人ひとりの人権を尊重し、利用者本位・自立支援の視点に立った、安全安心なサービスを提供します。また、地域の福祉ニーズに対応し、実情に合わせたサービスを検討し、在宅生活を支援します。

事業方針に基づき、特に次の点に重点をおいて取り組みます。

①個別支援の推進

利用者のストレングスに着目した個別支援計画に基づき、生きがい活動を支援し、望む生活の実現に努めます。また、ミニイベントの企画・実施により、生活の楽しみや潤いにつなげます。

②地域の福祉ニーズへの積極的な対応と相談機能の二層の充実

緊急やむを得ない事情による短期入所や生活介護の受け入れを積極的にを行います。お試し利用等の相談にも随時応じ、気軽に相談できるように配慮します。

③リハビリテーションの充実とノーマリトケアの推進

多職種連携によるリハビリテーションを実施し、利用者の心身機能の維持向上を図ります。走行式リフトや移動・移乗機、スライディングシート・ボードの導入により安全安心なケアを実践します。

カフェミーティング



皆さんとピザとコーヒーを頂きながら、一人ひとりの日常生活への要望をお聞きました。

お楽しみおやつ



山盛りのいちご、美味しくいただきました！



焼肉を楽しむ会



管理栄養士を中心に食を楽しむ会を企画しています。皆さん、楽しみにされています!!

お楽しみおやつ



作業療法(革細工)



(水谷作業療法士より)
皆さんが楽しんで取り組めるような作業を提案し行なっていただいています。

移乗移動式リフトカーる君導入

介助者の負担軽減、腰痛予防。利用者の心の負担軽減にも取り組んでいます。ベッドから車椅子への移乗などの介助場面で大活躍！



特別養護老人ホーム

いわくすの里

令和二年度の取り組み

施設長 田巻 清美

特別養護老人ホーム(長期入所・短期入所)

《事業方針》

利用者一人ひとりの意向に沿った「尊厳を支えるケア」を実践するとともに、安全安心につながるノーフットケアの推進・定着を図ります。また、地域の社会資源として広く住民に利用され、親しまれる施設を目指します。

事業方針に基づき次の点を重点的にを行います。

①利用者個々の施設サービス・栄養ケア計画、機能訓練計画、二十四時間シートに基づき、質の高いサービスを提供します。

②在宅利用者の相談にも随時応じ、短期入所の緊急受け入れ等を積極的に行い、利用者ニーズに対応します。

③ノーフットケア委員会やノーフットケアコーディネーターを中心に、機器の導入や技術の周知を図り、安全安心なケアを実践します。

④介護事故後の検証と事故防止策を徹底し、スタッフ一丸となり、事故の未然防止に努めます。

デイサービスセンター

《事業方針》

利用者の自立支援、介護予防の視点に立ち、心身機能の維持向上を図るとともに親しまれる事業所を目指します。また、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援します。

事業方針に基づき次の点を重点的にを行います。

①利用者個々のニーズに応じた個別ケアを推進し、選ばれる事業所を目指します。

②効果的な口腔ケア、体操、マシンによる機能訓練、生活リハビリを実践します。また、日中活動では多種類の活動から選択できるようにします。

③認知症ケア及びノーフットケアの知識・技術を高め、統一したケアに努めます。



ホームページもご覧ください

お菓子作り

スイートポテト
上手に焼き上がるかな?



いちご狩り

真っ赤に熟した苺!
どれも美味しそう☆



花の種まき

皆でまいた花の種。
キレイなお花が
咲きますように。



居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所いわくすの里
管理者 岸 美穂

令和元年10月に「居宅介護支援事業所さつき園」と統合しました。現在、介護支援専門員(ケアマネジャー)5名体制で皆様のご自宅等へ伺わせていただいております。皆様方が安心して生活できるよう、職員のスキルアップを図り関係機関等との連携強化に努めていきます。どうぞよろしくお願い致します。介護相談等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

連絡先 0254-50-2102
(岸、中山、時田、伴田、太田)



ショートステイ



綺麗に咲いた桜の前で
笑顔で1枚!

大根の皮剥きも
お手の物!



出来立ての鶏団子汁
頂きます!!



鶏団子汁作り



皆で作った鶏団子汁
美味しく出来ました♪

お花見



満開に咲いた桜の花は
やっぱり綺麗だな♪

たかつぼ

高坪山の風景

たかつぼのとりくみ

令和2年度

施設長 伊藤賢哉

重点目標

特別養護老人ホーム

- ① 職員の資質の向上と人材育成
- ② リスクマネジメントの徹底
- ③ 看取りケア
- ④ 職員の健康管理及び労働災害防止
- ⑤ 地域との協働と社会貢献
- ⑥ 感染症まん延防止

デイサービス

- ① レクリエーションや、行事、機能訓練等
心身とも楽しめるサービスの提供
- ② 住み慣れた地域での生活の継続支援
- ③ 介護者の声を受け止めて介護負担の軽減

グループホーム

- ① 利用者の意思及び人格の尊重
- ② 安心安全な介護サービスの提供
- ③ 行事を通じた地域との協働
- ④ 認知症ケアに関する専門性の構築

居宅介護支援事業

- ① 実施地域拡大による安定した経営
- ② 多職種連携による看取り支援
- ③ 周辺地域と協働した課題の解決

在宅介護支援センター

- ① 地域ネットワークを通じた相談体制
- ② 介護者教室と普及啓発事業の実施

デイサービス



本日の
レクリエーション



日頃の体操やレクリエーション
は、創作や工夫を凝らして、利
用者に楽しんで頂いています。

グループホーム



皆で仲良くお花を植えました。

特別養護老人ホーム



貼り絵

行事



皆さん一生懸命に取り組
まれています。

鬼に向かって、エイ！

居宅介護支援事業所よりお知らせ！

4月から居宅『垂水の里』と統合し、
介護支援専門員が5人となりました。
お気軽にお電話ください。



ゆり花園



令和2年度の取り組み

施設長 東海林 則夫

特別養護老人ホーム

《事業方針》

利用者一人ひとりの生活を支援し、尊厳を守り安心して暮らせることを目指したサービスを提供します。終の棲家として、本人はもとよりご家族とコミュニケーションを大切にしたい運営を心がけます。

《重点目標》

- ① サービスの見える施設運営
- ② 専門性を生かした個別ケアの提供
- ③ 在宅生活を支えるサービス提供
- ④ 業務改善と人材育成
- ⑤ 地域に開かれた施設運営と地域貢献

《事業方針》

山北地区の福祉関連の課題を行政等関係機関と共に把握して、村上市の中でも10年以上先を行く高齢化と人口減少に対する対策を検討し、安心安全な暮らしを提供できる計画を検討していきます。

《重点目標》

- ① 関係機関との協力体制の強化
- ② 地域交流の場所や機会の提供を行います。
- ③ 地域実態を把握して、村上市や介護サービス事業所等との連携を図り、5年後、10年後を見据えた福祉行政やサービスの在り方を検討する機会を作ります。

冬



無病息災を願って!!
毎年恒例の大毎獅子舞
保存会様による獅子舞です。



皆でカルタや福笑い。
楽しいお正月になりました。

お昼はおいしい
鬼のちらし寿司でした。



力を合わせて鬼退治!!



ひな人形と記念に1枚!! パシャッ 📷



春



今年も立派に
咲きました



さやえんどうを
植えました。
収穫が楽しみです。



マスク不足の中、
手作りマスクをい
ただきました。大
切に使わせていた
だきます。ありが
とうございます。



羽衣園

令和2年度の取り組み

施設長 田村 浩子

○特別養護老人ホーム

・高い倫理性と専門的な認知症ケアの提供
・確なリスクマネジメント

○地域密着型特別養護老人ホーム

・第三者評価受審
・ユニットキッチンの有効活用と個別ケア

○デイサービスセンター

・自立支援・重度化予防に資するサービスの提供

○居宅介護支援

・主治医との連携強化
・包括的な相談対応

○高齢者生活福祉センター

・入所者の健康維持

○在宅介護支援センター

・ボランティア活動の支援
・地域へ出向いた出張介護者教室の継続



畑仕事も苗選びも楽しい作業の一つ
今年もたくさん実りますように



天気がいい日、みんなでひなたぼっこ



職員による舞踊の披露。一緒に踊ったり、ゲームしたりで余暇活動も充実



今年もきれいに咲いた桜の下で



山菜の天ぷら・手打ちうどん…。みんなで作っていただきます！



外にはあまり出かけられない日々が続いていますが、施設内は毎日笑顔と笑い声があふれています。

垂水の里

令和2年度の取組み 施設長 細野 多恵子
特別養護老人ホーム

＜事業方針＞

利用者、家族からは、「ここへ来てよかった」「また利用したい」と思われ、ボランティアには、「また訪問したい」場所の一つに加えてもらえるように、そして、職員にとっては、「仕事に来るのが楽しみ」であり、「自分も利用したい」と思えるなど、心安らぎ誰もが生き生きと過ごせる”拠り所”となるような施設を目指します。

＜重点目標＞

- ①OJTを通じて能力向上を図る ②個別機能訓練の充実 ③食生活の向上にむけた取り組み
- ④地域交流の充実と地域貢献活動の推進 ⑤安全確保と防災対策の強化

在宅介護支援センター

＜重点目標＞

- ①介護予防・日常生活支援総合事業の継続実施 ②地域包括支援センターと連携し本人及び家族支援の強化



どうだ! 二枚目だろう!!

お正月



すまし顔の七福神 エッ!一人足りない

節分



鬼はそと~

お花見バスハイク

笑顔最高サインはブイ!



車窓からでも最高だね♪



春



△机差岳がきれい☀



♡春の日差しはまったりと…zzz♡

在宅介護支援センター予防教室



☞姿勢を正して伸ばしま〜す☞



🌸 祝いご膳食欲がわきます



どれにしようか迷うな♡

食事・おやつ
の紹介



特別養護老人ホーム



令和2年度の取り組み 施設長 高橋 茂

【事業方針】

介護保険法の基本理念である「尊厳の保持」と「自立支援」をケアの基本とし、利用者が健康で安らぎのある主体的生活が送れるよう支援を行ないます。また、家族会や地域住民との連携を強化し、地域から信頼される施設運営を目指します。

【重点目標】

- ①認知症ケアの充実
- ②看取り介護の充実
- ③リスクマネジメントの強化
- ④個別機能訓練の実施
- ⑤職員の資質向上
- ⑥食生活によるQOLの向上
- ⑦働き方改革に伴う有給休暇取得の義務化
- ⑧介護予防・生活支援サービス事業の受託

外気浴



観桜会



ひな祭り



観音様供養祭



おやつバイキング



グループホームまつかぜ

【事業方針】

家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送ることにより、認知症の症状の改善や進行の防止を図ります。また、認知症カフェを開催し、認知症の方や家族を地域で支えていくための身近な情報交換の場を提供します。

【重点目標】

- ①地域行事等へ積極的に参加し交流行事を充実します。
- ②研修会に参加し認知症の知識・技術の習得・向上を図ります。
- ③まつかぜカフェの自主開催を継続し情報交換の場を提供します。



フラワーアレンジメント



社会福祉法人村上岩船福祉会

令和3年4月採用

職員募集のお知らせ

基本理念 一人ひとりの安心と笑顔のために

募集職種 / 要件

- ア) 一般条件 ○当法人のいずれの施設にも勤務が可能な人
○自動車運転免許(普通車以上)を有する人(または取得見込みの人)

イ) 採用条件

職種	年齢要件等	資格要件等
介護士 又は 生活支援員	昭和56年4月2日以降に生まれた人(職務経験不問)で、右記の資格要件等を満たす人が受験できます	社会福祉士又は介護福祉士の資格を有する人(令和3年3月末までに資格取得見込みの人を含む)
看護師	昭和36年4月2日以降に生まれた人で、右記の資格要件等を満たす人が受験できます	看護師又は准看護師の資格を有する人(令和3年3月末までに資格取得見込みの人を含む)
理学療法士 又は 作業療法士	昭和36年4月2日以降に生まれた人で、右記の資格要件等を満たす人が受験できます	理学療法士又は作業療法士の資格を有する人(令和3年3月末までに資格取得見込みの人を含む)

※ 介護士/生活支援員は日勤、早番、遅番のほか、「夜勤勤務」もあります。
看護師は日勤のほか、早番、遅番勤務があります

募集人数 / 期間

募集定員を満たすまで随時募集いたします

待 遇

村上岩船福祉会給与規則によります

勤務場所

勤務地は、村上市内7か所、関川村内1か所の8施設から
居住地に応じて採用後決定します

<お問い合わせ先>

村上岩船福祉会本部事務局
0254-50-2222

村上岩船福祉会ホームページはこちらから→

